

2023年2月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	14,809,675	534,865	2,768.9%	33,856,045	43.7%
国内旅行	5,705,089	1,970,768	289.5%	5,512,092	103.5%
訪日旅行	509,072	14,970	3,400.5%	2,387,725	21.3%
合 計	21,023,837	2,520,604	834.1%	41,755,863	50.3%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019年同月比（2019年2月）を記載しております。

■ 海外旅行

海外旅行需要喚起の取り組みとして、「HIS 海外旅行大感謝祭」を2月11日・12日に開催いたしました。各政府観光局や航空会社にもご協力いただき、専門家による各国の最新情報を含む説明会をはじめ、海外旅行が当たる大抽選会、世界の名物料理を提供するなど、海外旅行の魅力を再発見いただくリアルイベントとして、累計で1万人以上のお客様にご来場いただきました。

2月出発の集客においては、韓国をはじめとする東南アジア・台湾といった近場のアジアが送客数を牽引しております。取扱高においては、ヨーロッパ方面が好調に推移しており、特にフランス・スイスが顕著な回復を示しました。また HIS 単体における航空券とパッケージツアーの構成比において、1月出発のパッケージツアーが3割弱なのに対して、2月出発が4割強となっており、学生旅行を中心にパッケージツアー需要の高まりがみられました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比2,768.9%、2019年同月比43.7%の148億967万円となりました。

■ 国内旅行

全国旅行支援第2弾の追い風もあり、2月の取扱高は2019年同月を上回る取扱高となりました。HIS 単体における取り組みとして、全国旅行支援対象外の周遊プランをお得に展開する「ぐるり旅キャンペーン」や、コロナ起因による「キャンセルチャージ全額免除」など、独自の特別施策を展開いたしました。

2月出発の集客・取扱高を牽引したのは、沖縄・北海道方面が好調に推移しており、中でもパッケージツアーが2019年同月比において取扱高が二桁の伸びとなりました。また、商品においては、航空券とホテルを自由に組み合わせられる「ダイナミックパッケージ」が大幅な伸びを示しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比289.5%、2019年同月比103.5%の57億508万円となりました。

■ 訪日旅行

旅行需要の回復が早いタイにおいて、2月3日から3日間で「JAPAN EXPO THAILAND 2023」（アジアで最大級のオールジャパンイベント）や、2月16日から4日間で「Thai International Travel Fair(TITF # 28）」（タイ最大級の旅行博）が開催されており、HIS 訪日事業では、現地大手旅行会社と連携し訪日のFIT商材の即売会を実施いたしました。また、訪日連携をしている自治体のブースにおいて、共同でプロモーション活動と訪日商材の販売を行うなど、海外現地からの訪日需要喚起と送客強化に努めてまいりました。

2月の取扱高としては、アジアを中心としたOTAより、長野県「地獄谷温泉」のスノーモンキーや北海道「流水観光船」の砕氷体験など、冬ならではのFIT商品が牽引いたしました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比3,400.5%、2019年同月比21.3%の5億907万円となりました。

2023年2月の取扱高合計は、海外旅行・国内旅行におけるレジャー需要の回復が顕著に表れた結果、コロナ禍以降2019年同月比において初の5割までの回復となり、210億2,383万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
広報室：050-1746-4177